

臨床検査技師のための eラーニング バリューレゾリューション™



パソコンやスマートフォン
など自分に合った学習
スタイルで取り組
めます。



月額料金 750円
施設単位での団体利用も
始まります。



確認テストに合格すると
『生涯教育履修点数』が
付与されます。

入会は日臨技HPから



<https://www.jamt.or.jp/learning/e-learning/>

注目コンテンツはこちら



「精度管理責任者」育成講習 初回コース 全41コンテンツ

臨床検査に関する法律関係

- ・個人情報保護法
- ・医療倫理的問題の把握と意思決定
- ・利益相反
- ・安全衛生・職場環境
- ・安全衛生・職場環境

精度管理の基礎

- ・精度管理の基礎Ⅰ
～精度管理に出てくる用語・単位・検査データの
取扱いについて理解する。～
- ・精度管理の基礎Ⅱ～
～警戒値・緊急異常値、精度管理調査、安全管理～

精度管理の各論

- ・精度管理の各論Ⅰ
～精密さ・正確さの評価方法、不確かさ概念・算出方法～
- ・精度管理の各論Ⅲ
～特性要因図の作成方法、管理物質の取扱い、分析前後の誤差要因～
- ・精度管理の各論Ⅲ
～管理試料を用いた内部精度管理について理解する～ など

精度管理の実践

- ・標準作業書、日誌、台帳等作成
 - I 標準作業手順書の書き方
 - II 検査機器保守管理作業日誌の書き方
 - III 測定作業日誌の書き方
 - IV 試薬管理台帳の書き方～
 - V 外部精度管理台帳の書き方 など

医療人・職業人スキル



キャリア開発

- ・医療人としての役割理解
- ・医療と一般の接遇の考え方の違い
- ・接遇向上はなぜ必要か？
- ・医療従事者の基本行動を理解する
- ・チーム医療の概念
- ・チーム医療の一員となるために



管理運営

- ・医の倫理概論
- ・インフォームドコンセント
- ・医療倫理問題の把握と意思決定
- ・コンプライアンス(法令遵守)
- ・国による医療安全対策の取り組み
- ・医療を取り巻く災害と対策



検査品質の向上

- ・品質マネジメントシステム(QMS)とは
- ・臨床検査におけるQMS
- ・QMSを構築すること
- ・臨床検査室の施設基準
- ・臨床検査における認定制度
- ・QMSとISO15189
- ・QMSの組織体制と文書・記録管理
- ・検査サービスの受託、委託、購買管理
- ・QMSの維持と改善
- ・QMSの評価と監査
- ・マネジメントレビューと継続的改善
- ・検査室の能力整備



経営管理

- ・医療機関の経営管理と経営資源
- ・就業規則について
- ・タイムマネジメント
- ・健康管理とストレスマネジメント
- ・経営戦略の意義
- ・戦略的マネジメント



組織管理

- ・チーム医療における臨床検査技師の役割
- ・コミュニケーションスキル
- ・質問力の向上
- ・効果的なプレゼンテーション
- ・ネゴシエーション
- ・実践スキルの強化とキャリアの達成に向けて



認定カリキュラムに沿ったコンテンツ



認定認知症検査技師

- ・認知症の概念
- ・認知症の症候学
- ・軽度認知障害(MCI)の概念
- ・神経心理学的検査
- ・血管検査
- ・NIRS検査 ・嗅覚検査 ・睡眠検査



認定一般検査技師制度

- ・尿検査 腎・尿路系の基礎
- ・腎・尿路系疾患関連の検査
- ・尿一般検査
- ・尿沈渣検査 尿沈渣成分の分類
- ・糞便検査
- ・脳脊髄液検査概論



血液分野

- ・血液検査の知識
- ・血液検査に必要な専門的知識
- ・血液検査法 血液に関する検査
- ・血液検査法 形態に関する検査
- ・血液検査法 止血検査
- ・遺伝子・染色体検査
- ・血液検査結果の評価
 - 骨髄増殖性腫瘍
 - 急性白血病
 - 骨髄異形成症候群
 - 白血球疾患
 - 血管の異常
 - 血小板の異常



認定救急検査技師制度

- ・救急医療概論
- ・救急検査総論
- ・症候としての意識障害と初期診療
- ・意識障害の初期診療に必要な検査
- ・症候としての呼吸困難と初期診療
- ・発熱の初期診療に必要な検査



輸血分野

- ・輸血検査に必要な免疫学
- ・ABO血液型とRh血液型
- ・不規則抗体と検査法 交差適合試験
- ・造血幹細胞移植と輸血
- ・血液製剤の適応と管理、供給
- ・輸血副作用の管理とリスクマネジメント

職能開発



病棟業務

- ・医療現場における職能向上のために
- ・他職種業務を知る意義
- ・病棟業務に必要な法的知識
- ・多職種との連携のためのコミュニケーション
- ・鼻腔・咽頭の構造と検体採取



業務拡大

- ・目標を実現するために押さえるべきポイント
- ・中期目標実現のための戦略(業務量分析メソッド)
- ・人員課題の解決法(業務最適化メソッド)
- ・人材育成の改革法(情報共有化メソッド)
- ・多職種連携の考え方(業務包括化メソッド)

詳しくは、JAMTホームページ、またはVRカスタマーサポートデスクをご覧ください。

<https://ii-systems.zendesk.com/>